



AIを活用した運用

2026年8月

MEBUKI めぶき証券
めぶきフィナンシャルグループ

商号等：めぶき証券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第1771号
加入協会：日本証券業協会

SBI 岡三アセットマネジメント

商号等：SBI岡三アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第370号
加入協会：一般社団法人資産運用業協会

本資料に関して
ご留意いただきたい事項

■本資料は、投資環境に関する情報提供を目的としてSBI岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、特定のファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成日時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■購入の申込みに当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

資産運用の本当の難しさは、始めることではなく、続けること

日々変化するマーケットに対応し続けることは、資産運用における大きな課題です
相場の変化に応じて資産配分を見直すにしても、その判断は難しく、継続は容易ではありません
その背景には、3つの人間の限界が存在します



01

判断の頻度



02

情報処理の限界



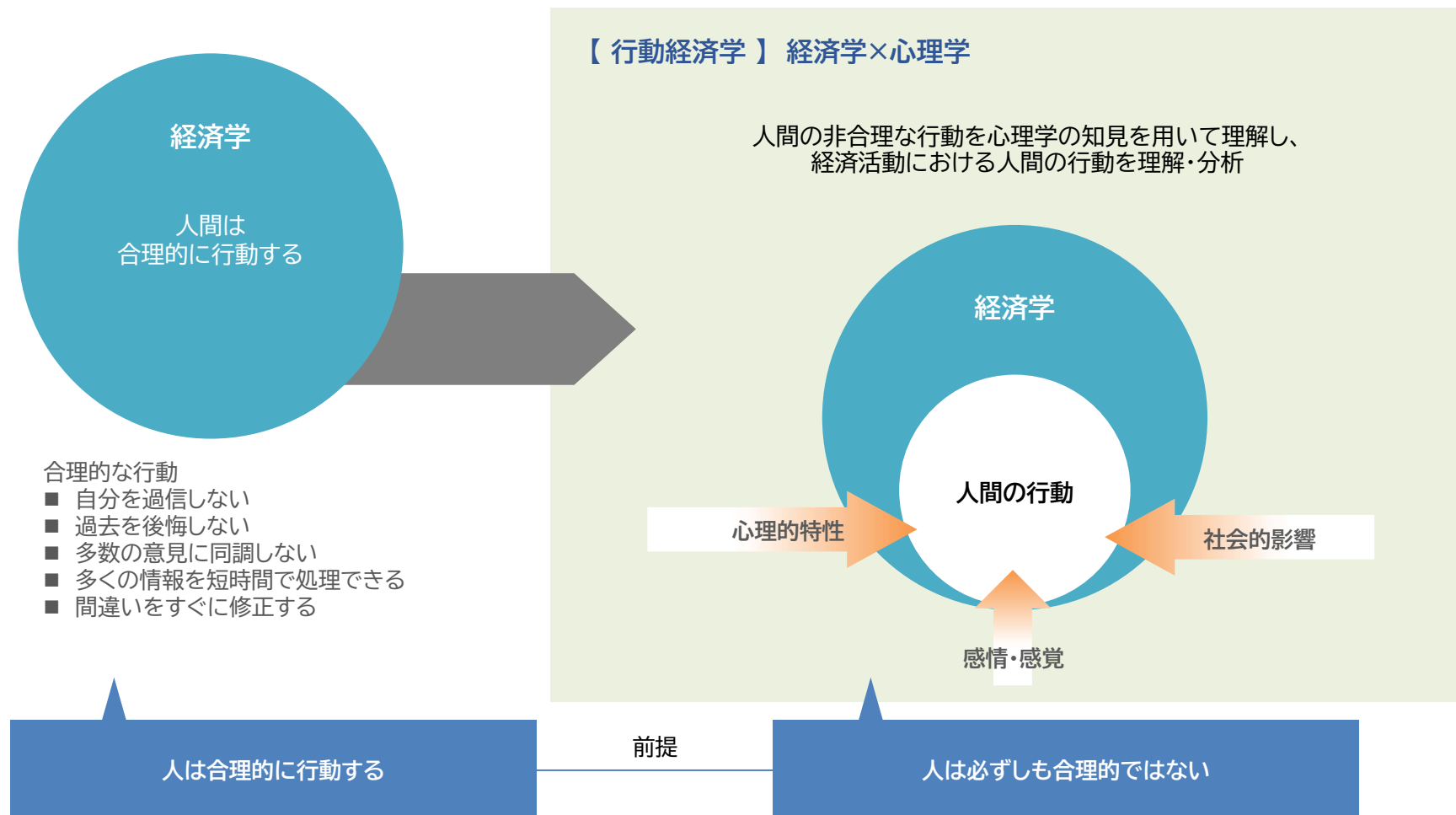
03

感情バイアス

市場環境等についての評価、分析等は、将来の運用成果等を保証するものではありません。

表紙の「本資料に関してご留意いただきたい事項」を必ずお読みください。

行動経済学とは？ ①



市場環境等についての評価、分析等は、将来の運用成果等を保証するものではありません。

表紙の「本資料に関してご留意いただきたい事項」を必ずお読みください。

プロスペクト理論



人は「利益を獲得する喜び」よりも
「損失を被る悲しみ」の方が大きく感じる

サunkコストの誤謬



すでに支払ったお金や時間、労力を惜しむあまり、
本来であればやめるべきことを続けてしまう

アンカリング効果



最初に見た数字や情報が基準(アンカー)となり、
その後の判断が引きずられてしまう

ハーディング



自分で十分に考えず、「みんながやっているから」という
理由で同じ行動を取ってしまうこと

※ イラストはイメージです。

市場環境等についての評価、分析等は、将来の運用成果等を保証するものではありません。

表紙の「本資料に関してご留意いただきたい事項」を必ずお読みください。

代表的な12の非合理バイアスと行動コントロールの必要性

代表的な非合理バイアスと関連する投資行動

1	自信過剰	自分の短期的な選択に自信を持ち過ぎて過剰に取引する。
2	後悔回避	後悔するのが嫌で損切りできない。
3	損失回避	利益と損失では同じ金額でも損失の方が大きく感じる。
4	メンタルアカウント	お金に色を付けてみてしまう。
5	主観確率	めったに起こらないことをもっと起こると感じる。
6	決定麻痺	選択の際に多すぎる情報を与えられると決定できなくなってしまう。
7	群集心理	自分の投資判断なのに、周囲の多数意見に同調してしまう。
8	保有効果	自分が保有しているものに高い価値を感じて、売りにくくなる。
9	アンカリング	判断に無関係な数字に影響を受けてしまう。「高値覚え」の原因。
10	認知的不協和	自分の判断に反する事実から目をそらし、都合の良い思い込みを続ける。
11	現状維持	合理的には変えたほうが良くても、現状維持を選んでしまう。
12	双曲割引	短期的な利益を過剰に求めてしまう。ダイエットが難しい理由の一つ。

非合理的なバイアスを持っている人 = 普通の人

非合理的なバイアスは、人に根源的に備わっているものです。こうしたバイアスを持っていることは、むしろ「普通の人間」であることの証です。私たちは皆、完璧な合理性を持っているわけではなく、感情や直感、過去の経験、周囲の影響などに左右されながら意思決定をしています。これは欠点ではなく、人間らしさの表れでもあります。

バイアスをコントロールする必要がある

普通の人を持っているバイアスをコントロールする手法のひとつに、コミットメント・デバイスがあります。これは、自らの将来の行動を制約する仕組みをあらかじめ設けることで、**非合理的な選択を避け、望ましい行動を促す方法**です。

投資におけるコミットメント・デバイスの一例

AI運用



投資判断を膨大な情報処理が可能なAI(人工知能)に任せることで、人間の非合理的なバイアスを排除しようとするアプローチです。

積立投資

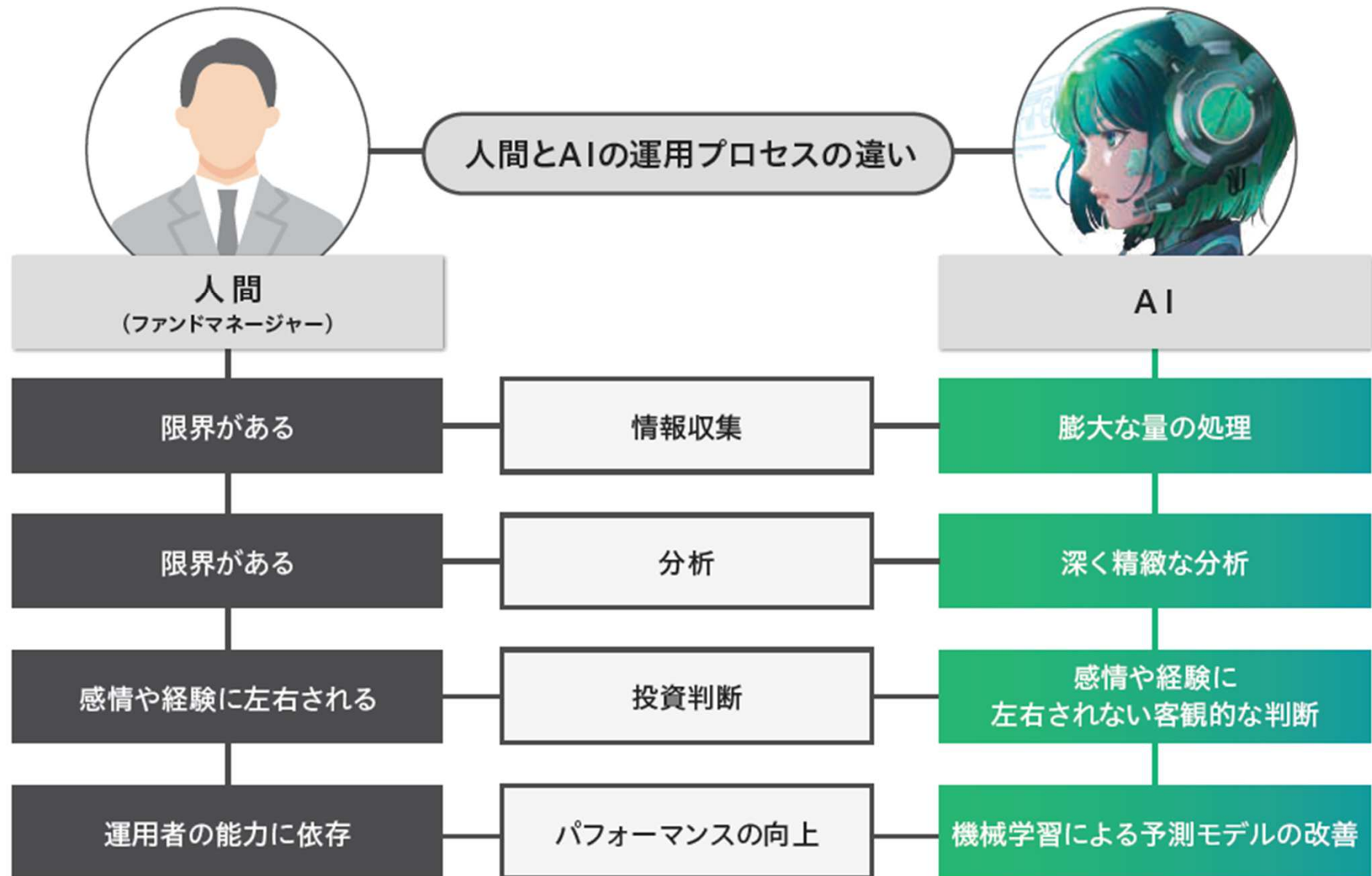


感情や市場動向に左右されず、毎月一定額を決まった日に自動的に投資することで、長期的な資産形成を可能にします。

市場環境等についての評価、分析等は、将来の運用成果等を保証するものではありません。

表紙の「本資料に関してご留意いただきたい事項」を必ずお読みください。

人間とAIの運用プロセスの違い



市場環境等についての評価、分析等は、将来の運用成果等を保証するものではありません。

表紙の「本資料に関してご留意いただきたい事項」を必ずお読みください。

01

判断の頻度

頻繁な意思決定が求められ、
配分の見直しを続ける負担が大きい

02

情報処理の限界

膨大な市場データを
常に正確に読み解くことは困難

03

感情バイアス

恐怖や楽観が、
合理的な判断を歪めてしまう



AIとうまく付き合うことで、相場に振り回されない安心した資産形成へ

市場環境等についての評価、分析等は、将来の運用成果等を保証するものではありません。

表紙の「本資料に関してご留意いただきたい事項」を必ずお読みください。

